

「2026年 日本：ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」のご案内

特定非営利活動法人 経済人コー円卓会議日本委員会

拝啓

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より弊会の活動にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

企業を取り巻く国際環境は、欧米における政策の方向性の揺らぎや地政学的な分断を背景に、かつてない複雑さを増しています。その一方で、人権デューディリジェンスは、もはや「努力目標」ではなく、グローバル市場に参入するための前提条件として定着しつつあります。

この不確実な時代において、企業がとるべき舵取りは明確です。それは、表面的な制度対応に惑わされることなく、サプライチェーンの透明性を高め、人権への負の影響を特定・是正するプロセスを経営の中核に据えることです。「国連ビジネスと人権に関する指導原則」が説く精神を羅針盤とし、自社の手の届く範囲から着実にアクションを起こすこと。その誠実な歩みこそが、ステークホルダーからの信頼を勝ち取り、次代の競争優位性を生み出す源泉となります。

弊会は2012年9月より「ニッポン CSR コンソーシアム」の事務局を務め、「指導原則」に則って「ステークホルダー・エンゲージメントプログラム（以下、「SHE」）」を毎年開催しています。このSHEは、様々な業種に属する企業やNPO・NGO・有識者の参加を得て、人権問題が発生する文脈、および事業活動と人権との関連性について理解を深め合う場であり、その議論の内容は参加者以外にも広く意見を求めた後に、「業界毎に重要な人権課題」として公開しています。参加企業のみならず、人権デューディリジェンスの推進を考えるすべての組織と企業に役立ててほしいという考えから、広く公開しています。

2026年度、第15回目となる「SHE」を開催いたします。本年度は、国内のみならず海外組織からの参加や協力を募り、グローバルな連携を一段と強化いたします。これまで以上に多くの国・地域の組織から、「ビジネスと人権」に関する懸念や、日本企業の人権デューディリジェンス推進に対する期待が寄せられることを見込んでいます。



下記の通りプログラム詳細をご案内申し上げます。

様々な団体や有識者、および他社との議論を通じて人権デューディリジェンスの本質をより深く理解できるこの機会を、是非ご活用ください。

敬具

【日時および場所】

ステップ① 市民社会との対話 6月5日（金）13:00-15:00 6月12日（金）13:00-15:00 6月19日（金）13:00-15:00 6月26日（金）13:00-15:00 7月3日（金）13:00-15:00	ステップ② 業界毎の討議 7月10日（金）13:00-17:00 7月17日（金）13:00-17:00	ステップ③ 発表及びパブコメ案作成 7月31日（金）13:00-17:00	ステップ④ パブコメ実施 最終案の策定
こちらの回は Zoom によるオンライン形式で実施する予定です。	こちらの回はディスカッション及び作業が発生するため、対面式とオンライン式のハイブリッド形式で実施する予定です。 （対面会場： AP 丸の内東京 最寄り駅：大手町・東京）	最終案策定 12月予定	

【参加費】

1社 50万円（税別）（1社につき3名参加可能）
 ※3名以上の場合は、事務局までご相談ください。

【参加団体】（予定）

Institute for Human Rights and Business（IHRB）
 ワールディング
 消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク（SSRC）
 他（計10団体を予定）

【お申込み】（期日5月末日）

<https://business.form-mailer.jp/fms/f05543c653011>

【お問い合わせ】

担当：松崎、和田 ※テレワーク実施中につき、メールでお問い合わせください。
 Eメール：info@crt-japan.jp 件名に【2026日本SHEについて】と記入ください。

【その他】

※本プログラムの概要、及び過去のプログラムに関しては、[こちら](#)をご参照ください。
 ※本プログラムは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）の人権ガイダンスツールを活用して議論を進めます。